DHARMA TACTICAL MOUSE

OPERATION MANUAL

MODEL : DRTCM01

CONTENTS

DHARMA TACTICAL MOUSE OPERATION MANUAL MODEL : DRTCM01 VOL.1

DHARMAPOINT マウス 取扱説明書
機器について

はじめに

このたびは、「Dharma Tactical Mouse ダーマタクティカルマウス」をお買い上げいただき頂き誠にありがとうございます。

本製品はゲームグレード・レーザーセンサーを採用し400〜2000cpiのユーザー可変cpi設定機能のほか、USBフルスピード接続によりレポートレート125〜1000Hzを実現しており、トップレベルの情報伝達能力を持った高性能レーザーマウスです。

また、マウス内に搭載されたフラッシュメモリに、ボタン割り当てなどの情報を登録することにより、3つのモードそれぞれに任意のボタン配置およびキースクリプトを設定可能です。これによってボタン割り当てを設定した本製品を他PCに接続しても、特別なドライバのインストールなしにカスタマイズしたボタン割り当てが使用可能となり、マシンを選ばず、マウス1つでLANパーティ等に参加することができます。

※ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

使用許諾書

お客さまへ、本製品を使用される前に必ずお読みください。

弊社シグマA・P・Oシステム販売株式会社では、ソフトウェアをお客様に提供するにあたり「使用許諾」にご同意いただくことをご提供の条件とさせていただいておりますので、ソフトウェアを開封される前に必ず下記「使用許諾」をお読みください。

なお、お客様がソフトウェアの入ったディスクを開封された場合には本「使用許諾」にご同意いただいたものといたします。

万一本「使用許諾」にご同意いただけない場合は未開封のまま速やかに購買店に製品一式をご返却ください。本製品ご購入代金を返還させていただきます。

1. ソフトウェア使用の許諾

1.1 お客様は、以下の使用許諾に従い、この文書と共に提供されている弊社ソフトウェア･プログラム(以下、「本ソフトウェア」とします)をご使用頂けます。

(a) お客様は1台のコンピュータ上で本ソフトウェアを使用するものとします。

(b) お客様は上記コンピュータ上で使用するため、当該コンピュータのメモリ、ハードデイスク等の記憶装置に本ソフトウェアを1部複製することができるものとし ます。その場合には当該コンピュータで使用するために必要な限度において本ソフトウェアの改変ができるものとします。

(c) お客様は専ら私的使用に限り本ソフトウェアを1部に限り複製することができるものとします。ただし、私的利用のバックアップ用の複製物にはシグマA・P・Oシステム販売株式会社及び弊社によって提供時に含まれていた著作権表示その他の警告が全て含まれなければならないものとします。

(d) お客様は弊社の文書による承認を得ないで、形式又は方法の如何を問わず、上記(b)(c)の場合以外の本ソフトウェアの複製、逆コンパイル、逆アッセンブル、改変はでません。

(e) お客様は上記(c)の複製権及び複製物を第三者に譲渡できません。

(f) お客様は本ソフトウェアを第三者に貸与できません。

1.2 お客様は本ソフトウェアを、同梱の製品、付属品と一体で本使用許諾を承認する第三者に限り譲渡することができます。その場合には、お客様が前項(b)(c)により複製した本ソフトウェアの複製物及び改変物の全てを消去、破棄しなければなりません。

1.3 お客様が本ソフトウェア又はその複製物を第三者に譲渡した場合には、お客様に対する本ソフトウェアの使用許諾は自動的に終了し、お客様はその保有する本ソフトウェアの複製物を消去廃棄しなければなりません。

2. 保証及び責任について

2.1 弊社は本製品に同梱されていた保証書をご提示頂いたお客様に対し、次の通り弊社製品を保証させて頂きます。なお、この保証を受ける権利は他に譲ることはできません。

(a) この文書と共に提供されているハードウエア製品の保証期

間に関しては、その製品と一緒に同梱されていた保証書に明記されています。お客様のご購入日より、その期間、通常の使用許諾のもとにおいて、材質又は製造上の重大な欠陥がなく､実質的に付属の製品マニュアルに基づいて動作すること。

(b) 本ソフトウェアに関しては、お客様のご購入日より９０日間、通常の使用許諾のもとにおいて、実質的に付属の製品マニュアルに基づいて動作すること。

2.2 弊社は保証書をご提示頂いたお客様に対し、前項の保証期間内において正常な使用状況で前項の弊社製品が故障した場合には、無償修理又は無償交換もしくは支払額の返金を致します。修理又は交換したハードウエア又はソフトウェアは、残存保証期間或いは修理交換品のお渡し日より90日間のいずれか長い期間､再度保証されるものとします。

2.3 弊社は､次の場合には有償にて弊社製品の修理を行います。

(a) 保証期間が経過した場合。

(b) 保証書のご提示が無い場合。

(c) 保証書に記入漏れ（販売店名及びご購入日については製品の領収書でも有効）､あるいは字句を書き換えられた場合。

(d) 使用上の誤り、または弊社以外での改造、修理による故障や損傷。

(e) 火災またはその他の天災による故障､損傷及び落下等の衝撃による故障損傷。

(f) 本製品のハードウエアを分解した場合、またはソフトウェアを改変した場合。

2.4 弊社の保証は日本国内においてのみ有効なものとします。

2.5 弊社ハードウエア製品及びソフトウェアの故障又は使用上に生じた誤作動､使用不能等によりお客様に生じた損害は､あらゆる直接損害間接損害を問わず（事前に弊社が損害発生の可能性につき告知されていた場合を含め）､弊社に一切の賠償責任はないものとします。

2.6 弊社は、本書面において明記する場合を除いて、本ソフトウェア､提供するハードウエア､付属の製品マニュアル及び印刷物に関して、特定の目的のための商品性又は適合性に関する黙示の保証及び第三者の権利の遵守に関する黙示の保証、その他いかなる明示又は黙示の保証をなすものではありません。また、弊社及び 弊社製品の販売者、代理店及びその従業員は､幣社の保証及び責任につきいかなる修正、拡張をなす権限も与えられておりません。

3. その他

3.1 本使用許諾書に関して生じた紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所とし、条項の解釈は日本法に準拠してなされるものとします。

以上

シグマA・P・Oシステム販売株式会社

製品使用上のご注意

・本書の著作権はシグマ A・P・O システム販売株式会社が所有しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で複製転載することを禁止致します。
・本書の内容に関しましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点、記載漏れ等がございましたら、販売店または弊社までご連絡下さい。
・本書の内容については予告なく変更する場合があります。
・本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものと異なる場合があります。
・本製品のデザイン及び仕様は製品改良のため予告なく変更する場合があり、購入された製品とは一部異なることがあります。
・本製品は一般的なオフィスや家庭機器としてお使い下さい。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことによる損害が発生した場合、弊社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
・弊社は製品の故障に関して一定の条件下で修理を保障致しますが、記憶されたデータが消失 ・破損した場合については保障しておりません。
・本書に記載された注意事項を遵守して下さい。 また必要なバックアップを作成して下さい。お客様が本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失 ・破棄に伴う損害が発生したとしても、弊社はその責任を負いかねます。
・本製品に起因する債務不履行または不正行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入金額と同額を上限と致します。
・本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
・その他、記載されている製品名、社名は一般的に各社の登録商標、商標です。

パッケージの内容

本製品パッケージにはキャンペーン等での添付品を除いて次のものが含まれます。ご使用になる前に必ずご確認して下さい。なお梱包には万全を期しておりますが、万一不足品・破損品等がありましたら、すぐにお買いあげ販売店にご連絡してください。

マウス本体……………………………1 台
ドライバ CD …………………………1 枚
交換用マウスソール…………………1 セット
取扱説明書（本書）…………………1 部
保証書…………………………………1 枚

製品仕様

対　応 O S	日本語版OSシステム：Windows Vista™、Windows® XP搭載のDOS/Vパソコン Windows® XP搭載のDOS/Vパソコンでチルト機能をご利用いただくにはドライバのダウンロードおよびインストールが必要です。
対 応 機 種	USBポートを標準で持ち、パソコン本体メーカーが上記対応OS上でのUSBポートの動作を保証している機種。（一部対応しない機種があります）NEC　PC-9800、PC-9821シリーズには対応しておりません。要CD-ROMドライブ ※ファームウェアアップデートには別途USBマウスが必要です。
インター フェース規格	USB1.1 (タイプA コネクタ) USBフルスピードモード16bitウルトラデータパス
マウス 仕 様	ボタン数　：10(cpi切替スイッチ含む) ホイール　：チルトホイール 割り当て可能ボタン　：6(右サイドボタン、左サイドボタン×2、センターホイール、チルトボタン×2) 本体内にスクリプト収納用フラッシュメモリ内蔵　：3モード
レ ー ザ ー センサー仕様	トラッキング解像度　：400～2000cpi(ユーザー任意設定) 3200cpiエミュレーション動作(X/Y軸独立設定可能) 最大加速　：20G 最大スピード　：45ips(マウス操作面の材質によって異なります) フレームレート　：7080fps USBデータバンド　：16bits/axis USBレポートレート：125～1000Hz(ユーザー任意設定) スリープモード　：なし　DCモード動作による常時稼動 ファームウェアアップデート機能：あり(アップデート時には別途USBマウスが必要です)
本 体 寸 法	W63×D115×H42mm
ケーブル長	約1.5m
重　量	本体約110g(ケーブル含む)
主 要 材 質	マウスフィート　：PTFE(ポリテトラフルオロエチレン)
動 作 環 境	温度　0℃～45℃、湿度10%～90% (結露なきこと)

本製品の取扱について

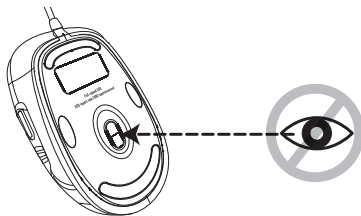
※ご利用の PC および OS 環境によってはすべての機能をご利用いただけない場合があります。
※本製品のファームウェアアップデートには、別途 USB マウスが必要です。
※ USB ポートに接続する場合は、パソコン本体のポートに接続してください。
※ USB ハブ経由で接続すると正しく動作しない場合があります。
※その他、記載されている製品名、社名は一般的に各社の登録商標、商標です。
※一部のアプリケーションによっては本製品の機能をご利用できない場合があります。
※透明ガラスなどの一部の表面では動作しにくい場合があります。
※ Windows Vista™ 搭載の IE（インターネットエクスプローラ）は OS が標準で提供するチルト機能に対応しておりませんのでご注意ください。

レーザー製品の取り扱いについて

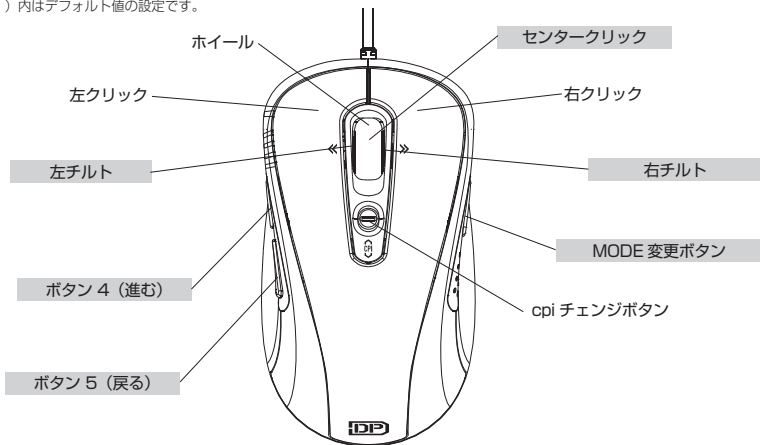
レーザー発生装置仕様

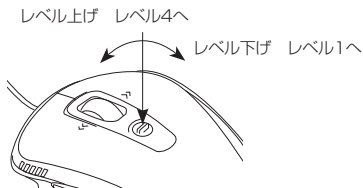
●不可視赤外線の平行ビーム放射
●出力安定化回路を持つ波長 830 ～ 860nm、出力 600 ～ 720 μW のレーザー発生装置

クラス 1 レーザー製品は、人体に影響を与えない低出力レーザー発生装置を使用しており、合理的に予測可能な条件下で安全にご使用いただけます。ただし、以下の事項を心がけてご使用になることをお勧めいたします。

●他人の目に向けてビームを向けないでください。
●適切な使用が不可能な場合や問題解決がされない場合、機器を取り外し弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
●摂氏 0 度から 40 度の範囲を外れた気温では本製品の使用を中止してください。
●観察のためにビーム発射口を覗き込まないでください。

マウス各部の名称

　のボタンはスクリプトの割り当てが可能なボタンです。
（　）内はデフォルト値の設定です。

ホイール
センタークリック
左クリック
右クリック
左チルト
右チルト
MODE 変更ボタン
ボタン 4（進む）
cpi チェンジボタン
ボタン 5（戻る）

cpi チェンジボタンについて

本製品は本体上部に設置された cpi チェンジボタンによって本体の cpi 設定を変更することができます。

各インジケータの表示について

MODE インジケータ

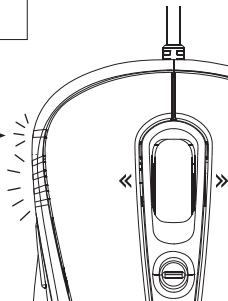
MODE インジケータは用途に合わせたボタン配置を記憶したMODE で以下のように変更されます。MODE 変更ボタンに割当をおこなった場合は、センターボタン＋右クリック長押しで変更をおこなってください（変更はボタンに割当られた設定がおこなわれた後に変更されます）。

MODE1 → MODE2 → MODE3

（MODE 3から変更すると MODE1 に戻ります）。

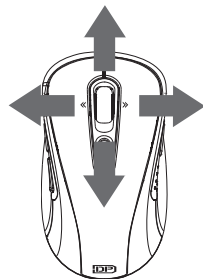
MODEインジケータ
グリーン：MODE 1
オレンジ：MODE 2
レッド　：MODE 3

cpiインジケータについて

4 段階に変化します。

チルト動作について

基本的にサイドホイールボタンはキー割り当て可能なオプショナルボタンとして設定されています。
本製品を通常のチルトマウスとして利用する場合、別途ダーマポイント公式WＥＢサイトよりオリジナルチルトソフトウェアのダウンロードとインストールが必要です。

以下のダーマポイント公式 WEB サイトよりダウンロードをお願いいたします。

http://www.dharmapoint.com/

DHARMA POINT マウス 取扱説明書
ソフトウェアについて

ゲームマウスエディター ダーマコントロール のインストール

ダーマコントロールはマウス本体の設定情報の書き換えや変更に必要となるユーティリティソフトウェアです。
マウスの基本動作そのものについてはOS標準のドライバで動作しますので、本ソフトウェアの起動あるいは常駐は必要ありません。ただし、マウス本体の各種パラメータ設定変更などカスタマイズに必要な機能が搭載されており、出荷時の標準設定以外へのパラメータ変更をご希望の場合は本ソフトウェアのインストールをお勧めします。
インストール後、本ソフトウェアはご指定のフォルダに必要となる全てのファイルが格納されますので、書き換え可能なＵＳＢメモリ、メディアカード等にコピーすれば、別のPCにそれらの記憶媒体を接続しフォルダ内の実行ファイルを実行するだけで使用することができます。

⚠ 注意

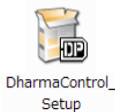
ダーマコントロールは本製品が接続されていない状態では正常に動作しません。他社製マウスおよびキーボードソフトウェアがインストールされている場合、アンインストールを行ってください。他社製ソフトウェアが導入されている場合、競合を起こし正常に動作しない場合があります

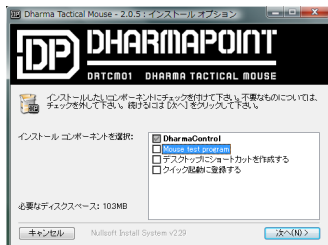
インストールの手順

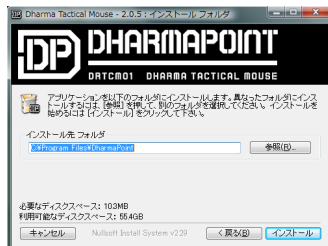
以下説明中のスクリーンショットは実際の画面と異なる場合があります。

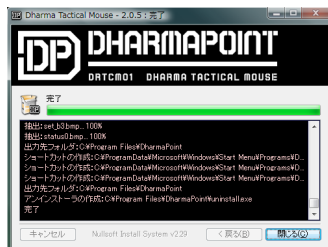
1. Setup の起動

添付のCD内の “Dharma Control_Setup” アイコンをダブルクリックしてください。

DharmaControl_
Setup

2. インストールオプションの選択

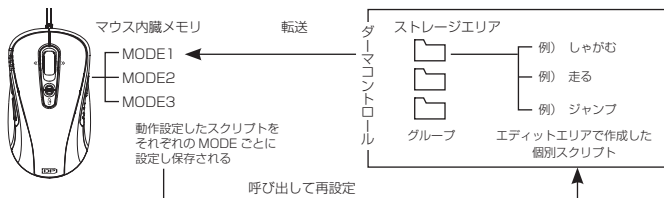
インストールしたいコンポーネントにチェックを付けてください。インストール不要なものについてはチェックを外してください。続けるには「次へ」をクリックしてください。

3. インストールフォルダの選択

特に指定がなければ “C:\Program Files\Dharma Point” にインストールされます。変更したい場合には参照を押して別のフォルダを選択してください。

4. インストールの完了

ファイルが展開されインストールが進行します。完了の表示がでましたら “閉じる” をクリックしてください。

ダーマコントロール　メイン画面

スタート⇒すべてのプログラム⇒Dharma Tactical Mouse⇒Dharma Control をクリックしてください。
下記の画面が表示されます。
メイン画面は各機能へアクセスする入り口となります。またスクリプトの作成、変更などを行うことができます。

設定の流れ

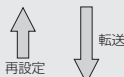
ダーマコントロールインストール後、本製品のセッティングは以下の流れとなります。

マウスの基本設定

cpi 設定、レポートレート、各ボタンの設定使用の可否など、マウス基本設定を行います。

エディットエリアでスクリプト作成

エディットエリアでキー／ボタン操作やその間隔等を記録してスクリプトを作成します。タイミングの調整やカスタマイズ等を行います。

ストレージエリアでスクリプト保存

ストレージエリアへ作成したスクリプトを保存します。これによっていつでも作成したスクリプトを呼び出すことができます。

モード設定エリアでマウス内蔵メモリへの収納

保存したスクリプトをマウス内のフラッシュメモリに書き込み、マウスの各ボタンにボタンを割り当てます。

実戦配備

各ボタンの機能を確認してみましょう！　思ったとおりのアイデアを実践できたでしょうか？　ベストセッティングは簡単には出ません。試行錯誤を繰り返しましょう！

スクリプト公開

作成したスクリプトをブログや WEB ページを通じてクラン仲間に公開しましょう！　もちろんダーマポイントでも皆さんの研究成果を待っています。
詳しくは ⇒ http://www.dharmapoint.com/

マウスの基本設定

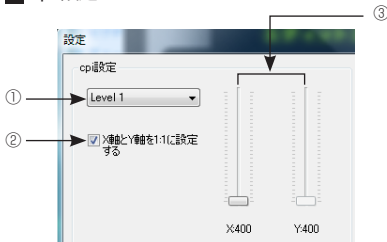
基本設定画面の呼び出し

マウスの基本設定を行います。メイン画面右上の “基本設定” ボタンをクリックすると基本設定画面が開きます。

⚠注意　マウスをPCに接続していないとマウスのアイコンは出現しません。

基本設定画面

基本設定ボタンをクリックして基本設定画面に入ってください。

基本設定画面の各機能

cpi 設定

①**レベル変更ダイアログ：** cpiチェンジボタンでの設定値をレベルごとに設定します。ボリューム摘みをドラッグするか、選択してホイールで操作を行ってください。

② **X/Y軸設定チェックボックス：** チェックを入れるとX軸とY軸の変更比率を1：1に設定できます。チェックをはずすとX軸とY軸でそれぞれ異なったcpi設定ができ横方向の動きを鋭敏にするなど細かい設定が可能です。

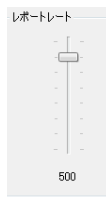
③ **cpiレベル設定：** レベルごとにcpi設定を400～3200cpiに変更できます。変更はレベルごとに異なった設定が可能です。ただし、400/800/1600/2000cpi以外の値の場合、マウス内蔵のファームウェア側でソフトウェアによる補正が行われます。

■ センシティビティの設定

ポインタの移動量は、マウスから送られた移動情報(カウント数)を一定の比率に従ってポインタの移動ピクセル数に換算することで決定します。
その比率を決めるのがセンシティビティです。センシティビティはアプリケーションごとに異なり、ゲーム内のプロパティでマウス感度と表現されることもあります。センシティビティは快適さに大きく影響しますのでcpi設定を行った際には、OSやゲーム内で必ず調整をしてください。速度のつまみを "0" にセットすると1カウント=1ピクセルの比率に設定されます。変更はボリューム摘みをドラッグするか選択してホイールで操作を行ってください。

⚠注意 本設定はお使いのPCのコントロールパネル内のマウスの設定を変更します。

■ レポートレートの設定

1秒間にマウスがPCに情報を送信する回数の事で、単位はHzで表示されます。
現在のUSBマウスで一般的なケーブルタイプマウスでは125Hz、つまり1秒間に125回情報を送信する仕様の製品が殆どです。
レポートレート値が高いほどマウスの動作やボタン操作の情報を、より素早く正確にコンピュータに伝える事が出来ますのでcpiやマウスセッティングと密接な関係を持っていると言えますが、かといってむやみにレポートレートをあげるとCPUがUSBポートの監視を行う頻度が増大し、スペックに余裕のないPCをご利用の場合、CPU負荷率が増加し快適なプレイに悪影響を及ぼす可能性があります。変更にあたってはボリューム摘みをドラッグするか選択してホイールで操作を行ってください。

ボタン割当の設定

本製品は、メモリエリア内に3つのユーザーエリア(MODE1、MODE2、MODE3)を持ち、それぞれのMODEごとにボタン割当設定を保持することができます。
MODEごとにスクリプトの割り当てを行うボタンを指定します。

スクリプトを割り当てるボタンのチェックを入れてください。

ボタン割当 (チェックをはずすとデフォルト値が設定されます。)

	センター	左チルト	右チルト	ボタン 4	ボタン 5	MODE変更	左右クリック交換
MODE 1	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
MODE 2	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
MODE 3	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

MODE ボタン割当時のモード変更について

MODE変更は設定によって2種の切り替え方法があります。

ボタンステータスにおいてMODE変更ボタンに何も設定していない場合→マウスの“MODE変更ボタン”でMODEが切り替わります。

ボタンステータスにおいてMODE変更ボタンにチェックをいれている場合→マウスの“センタークリック+右クリックの同時長押し”でMODEが変更されます。

ボタン割当 (チェックをはずすとデフォルト値が設定されます。)

	センター	左チルト	右チルト	ボタン 4	ボタン 5	MODE変更	左右クリック交換
MODE 1	☐	☐	☐	☑	☑	☐	☐
MODE 2	☐	☐	☐	☐	☐	☑	☐
MODE 3	☑	☐	☐	☐	☐	☑	☐

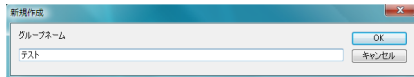
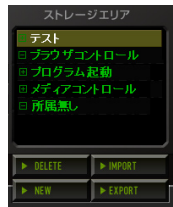
※ MODE 変更にチェックが入っている場合、
センター+右クリック同時長押しでモードを変更します

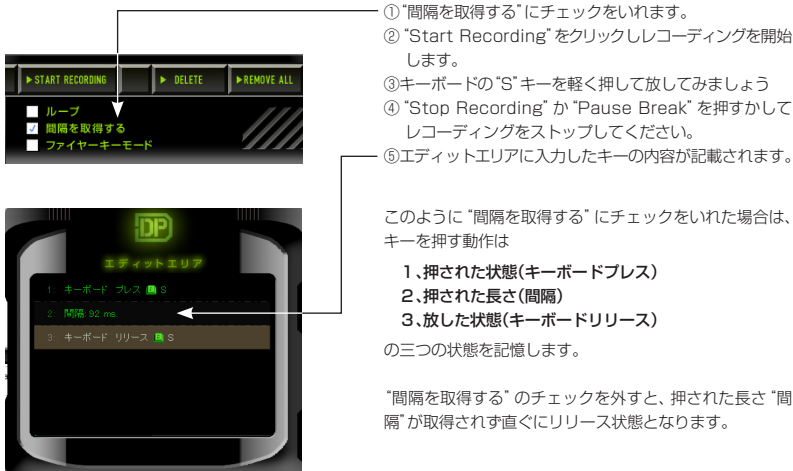
スクリプト管理グループの作成

スクリプトを管理できるようグループを作成しましょう

① "NEW" ボタンを押してスクリプトのグループを作成します。

⚠注意
直接スクリプトを作成することもできますが、まずはグループを作成します。

② グループ名は重複しない任意な名称を付けることができます。
ダイアログにグループ名を入力し "OK" を押すと完了します。

③ ストレージエリアに新グループが追加されていることを確認してください。

スクリプトの作成 / 設定

スクリプトの作成

START RECORDING をクリックするとレコーディングを開始します。
Pause Breakを押すか STOP RECORDING をクリックするまで記録は続きます。

キーボードのキーを押すスクリプトを作成する

では最初にキーボードキーを押すもっとも初歩的な動作のスクリプトを作成しましょう。

ここでは例として“S”キーを押すスクリプトを作成します。

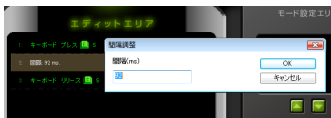
①“間隔を取得する”にチェックをいれます。
②“Start Recording”をクリックしレコーディングを開始します。
③キーボードの“S”キーを軽く押して放してみましょう
④“Stop Recording”か“Pause Break”を押すかしてレコーディングをストップしてください。
⑤エディットエリアに入力したキーの内容が記載されます。

このように“間隔を取得する”にチェックをいれた場合は、キーを押す動作は

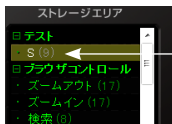
1、押された状態(キーボードプレス)
2、押された長さ(間隔)
3、放した状態(キーボードリリース)

の三つの状態を記憶します。

“間隔を取得する”のチェックを外すと、押された長さ“間隔”が取得されず直ぐにリリース状態となります。

スクリプト動作のタイミング設定

「間隔」はキーを押した際のタイミングの設定になります。
調整を行いたい場合には、エディットエリア内のタイミング(「間隔：○○ms」)をダブルクリックしてください。
間隔調整ダイアログが出現しますので任意の時間を入力し、変更することが可能です(単位はmsです)。

スクリプトの保存

記録が終わったらボタンを押して
ストレージエリアに保管をしてください。
ストレージエリアの ボタンを押すと新規作成ダイアログが現れますのでグループを選択しスクリプト名を入力します。

先程、作成した“テスト”グループにスクリプト“S”ボタンが追加されています。

基本的なスクリプトの記録手順は以上です。

ファイヤーキーモードの使い方について

ファイヤーキーモードはシューティングゲームにおける“連射ボタン”のように押されている間だけ機能しボタンを離すことで解除される機能です。

※ループとファイヤーキーモードの違いについて

ループ：登録したキーを押すとあらかじめ設定されたスクリプトの繰り返し動作になります。再度キーを押すと解除されます。

ファイヤーキーモード：通常キーの登録は　**1. プレス　2. 間隔　3. リリース**　の３ステップで１動作として記録されます。
しかしこの状態ですとキーを押し続ける状態を保持することができません。同じ動作を続ける設定を行おうとした際、ファイヤーキーモードにチェックを入れると押した状態で有効、離した状態で解除といった動作を割り当てることが可能となります。

ファイヤーキーモードのスクリプトの作成

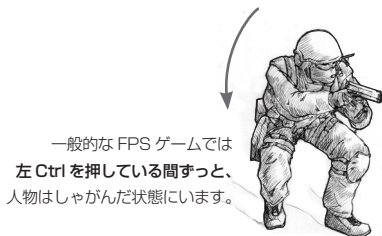
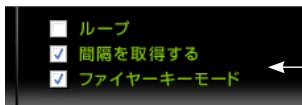
ファイヤーキーモードでの初歩的な動作のスクリプトを作成しましょう。

今回は例としてFPSゲームにおいて一般的な“**しゃがみ**”の動作として
＜“左Ctrl”キーを押すと有効　離すと解除＞　を行うスクリプトを作成します。

一般的なFPSゲームでは
左Ctrlを押している間ずっと、
人物はしゃがんだ状態にいます。

左Ctrlキーを離すと
解除され、
人物は立ち上がります。

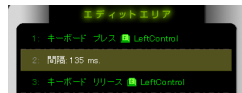
基本スクリプトのレコーディング

ループ
間隔を取得する
ファイヤーキーモード

①“間隔を取得する”にチェックをいれます。
②次に“ファイヤーキーモード”にチェックを入れます。
③エディットエリアの“Start Recording”をクリックし、
　レコーディングを開始します。
④キーボードの“左Ctrl”キーを軽く押して放します。
⑤Pause Breakを押すか“Stop Recording”をクリックして、レコーディングをストップしてください。

⑥エディットエリアに入力したキーの
　内容が記載されます。

スクリプト動作のタイミング設定

レコーディングが終わったら次にタイミングの調整を行います。
エディット画面内の"間隔"をダブルクリックしてください。

ファイヤーキーの場合、
65535 msに変更します

間隔調整ダイアログが出現しますので最長時間の**65535**を入力してください(単位はmsです)。
時間切れによる解除を防止します。

リリースの削除

ファイヤーキーモードは連続してキーを押した状態に設定する必要があります。
自動的にキーの動作がレコーディングされていますので、リリースキーを実行されないようにするため、Deleteボタンもしくはキーボードの"Delete"で削除します。

①リリースを選択し
②Deleteボタンもしくはキーボードの
"Delete"でリリースを削除します。

スクリプトの保存

ストレージエリアの ボタンを押すと新規作成ダイアログが現れますのでグループを選択しスクリプト名を入力し保存します。

スクリプト
"しゃがむ"が
追加されています。

⚠ 注意

グループ間をまたがって、同じスクリプトネームを使用することはできません。
必ずそれぞれ固有のスクリプトネームをご利用ください。

マウスボタンへのスクリプト割り当てと確認

それではMODE3のボタン5へ作成したスクリプトを割り当ててみましょう。

①MODE3を選択してください。

※このボタンを押すと現在の割当状況が確認できます。

②割り当て先のボタン5を選択します。

③割り当て元のスクリプト“しゃがむ”を選択します。

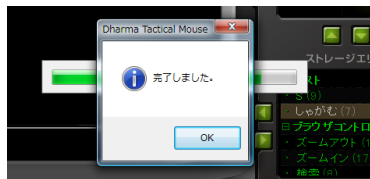
④ を押してマウス内部に保存します。

Dharma Tactical Mouse

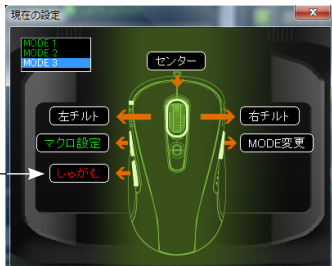
'ボタン 5' を上書きしてよろしいですか？

はい(Y)　いいえ(N)

⑤マウス内部メモリへ書き込みが完了しました。

※このスクリプトの割り当ての手順は通常のスクリプトとファイヤーキーモードのスクリプトどちらも共通です。

■ マウス設定状況の確認

スクリプトが順当に割り当たっているか、
現在のマウス割り当て状況を確認しましょう。
ダーマコントロール右上の i を押すと
右記のように、現在の設定状況が表示されます。

MODE3 に設定したスクリプト
“しゃがむ”が割り当てられていることを
確認してください。

■ 実行確認

マウスをMODE3にセットします。
MODEごとにLEDカラーが異なりますので、
設定したMODE3のレッドに
切り替わっているかご確認ください。

“ボタン5”を押すと
人物はしゃがむ動作
を続けます

“ボタン5”を離すと
立ち上がります。

⚠ 注意

MODE 変更の方法に注意してください。MODE 変更ボタンに何らか動作を割り当てていた場合、センタークリックと右クリックを同時長押しするとモードを切り替えることができます。センターボタンにも動作を割り当てていた場合、さらに動作分の時間が掛かりますのでご注意ください。

以上の設定を組み合わせることによってカスタマイズを行ってください。

作成したスクリプト・グループの管理について

スクリプトの移動

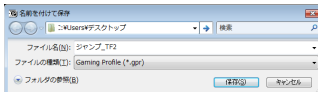
作成したスクリプトはストレージエリア内で他グループにドラッグして移動させることができます。

スクリプトをドラッグして他のグループに移動することができます。

スクリプト・グループのエキスポート / インポート

スクリプトのエキスポート

作成したスクリプトおよびグループは、エキスポート機能を使用することで外部ファイルとして管理することができます。

エキスポートしたいスクリプトを選び、▶EXPORT ボタンをクリックしてください。

フォルダを名を付けて保存してください。
拡張子 GGF ファイル (.ggf) として保存されます。

スクリプト・グループのインポート

スクリプトやグループファイルをインポートする場合は、ダーマコントロール内の
▶IMPORT ボタンを使用してください。

インポートするファイルの場所を指定して“開く”をクリックしてください。

インポートするグループとファイル名を指定して“OK”をクリックしてください。スクリプト名は全グループを通して重複しない名称でなければいけません。
同じファイル名があった場合は､変更して“OK”をクリックしてください。
グループをインポートする場合は、同じく、グループ名を指定した後、各スクリプトの名称を確認してインポートします。

スキンの変更

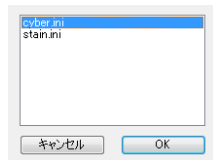
ダーマコントロールはスキンファイルの変更を行うことができます。
ダーマコントロールを表示した状態でキーボードの“Ctrl+S”を押すと以下の変更ダイアログが表示されます。変更するスキンiniを選択し、お好きなスキンへ変更してください。

変更スキン

デフォルトでは以下の3種類のスキンが用意されております。

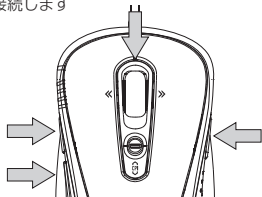
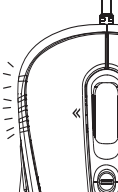
Standard.ini

Stain.ini

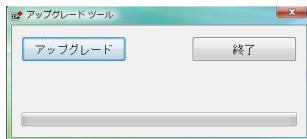
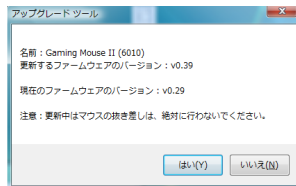
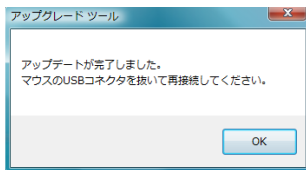
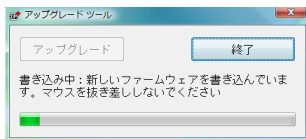
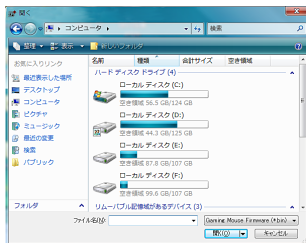
Cyber.ini

ファームウェアのアップデート

本製品ではファームウェアのアップデート機能が搭載されており、下記の手順でマウス内蔵ファームウェアの更新が可能です。
なお､ファームウェアアップデート作業中は本製品をマウスとして使用できなくなりますので､アップデート作業中はキーボードショートカットを用いるか､あるいは別途操作のためマウスをご用意いただく必要があります。

ファームウェア更新モードの設定

本製品のUSBコネクタをPCのUSBポートから一旦外して、下図矢印のボタン(ボタン4､5､MODE変更ボタン、センタークリック)すべてを同時押しした状態のままで、ファームウェア更新に使用するPC(OS起動中)のUSBポートに接続します

ファームウェア更新モードでの接続に成功すると、右図の様に本体左側面上部の5つのLEDが同時に点滅を開始します。

アップデータの起動

マウスがファームウェア更新モードで接続されたことを確認したら､次にアップデータを起動します。
インストール先のフォルダからダーマコントロールアップデーター を起動します。
その際､キーボードの操作で開くか別のマウスで開いてください。

(インストール時にインストール先を変更されていない場合、
通常 C:\Program Files\DharmaPoint\DRTCM01フォルダ
の中にダーマコントロールアップデーターがインストールされています)

アップグレードボタンをクリックすると、更新するファームウェアの格納された.binファイルを開くダイアログ画面が表示されますので､ファームウェアファイルを指定し、｢開く｣をクリックします。

「開く」をクリックしてファームウェアファイルをロードすると、現在マウスに書き込まれているファームウェアのバージョン名と、ロードした新しいファームウェアのバージョン名が表示されます。
新しいファームウェアのバージョンが正しければ「はい」をクリックしてファームウェアの更新を開始します。

更新が完了しますとダイアログが表示されますので、
「OK」→「終了」をクリックして
アップデータを終了し、マウスのUSBコネクタを抜いてそのまま挿し直して正常に動作するかご確認ください。

⚠注意

更新作業は一旦フラッシュメモリを初期化して内容をクリアにした後、新しいファームウェアの内容を書き込みますので、途中で「終了」をクリックして中断できますが、その場合は再度ファームウェアの書き込みを行わねば本製品の使用が出来ないままとなります。ご注意ください。

WEBサイトのご案内

ダーマポイントの WEB サイトでは、ユーザー登録や製品の最新情報、アップデートファイル、最新のトラブルシューティングなどを提供しております。ぜひご利用ください。

http://www.dharmapoint.com/